

# 金太郎

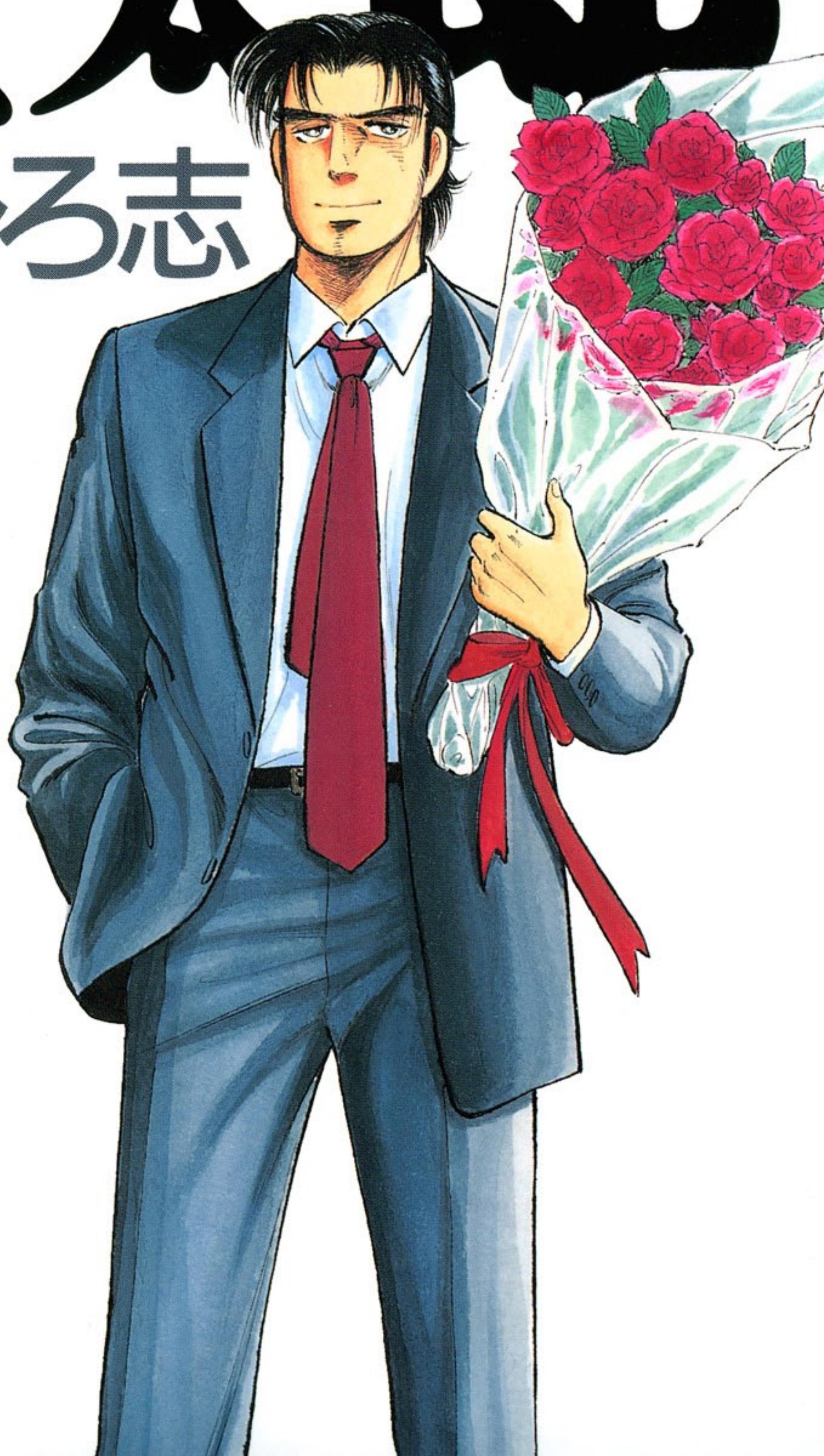
サラリーマン

## 本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

21

金太郎、起つ





サラリーマン  
**金太郎**

本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

**21**

金太郎、起つ



## 【前巻までのあらすじ】

●サラリーマンになるため、漁師をやめて上京してきた一人の男——その名を“矢島金太郎”といつ。亡き妻、明美の忘れ形見・竜太を背負い、一流企業「ヤマト建設」にやってきた。しかし、この男、元は暴走族「八州連合」の頭（ジン）という型破りな経験の持ち主。ヤマト建設会長・大和守之助を救ったのがきっかけで中途採用されたのだつた。

金太郎は様々な妨害や困難に誰よりも熱く立ち向かつていき、その生き様は多くの者を魅了。金太郎はその人脈を広げていつた。

リストラ組合員達と新会社を興し、一時、ヤマトを出た金太郎だつたが、軌道に乗つた会社を吸収合併という形でヤマトに売却、伊郷新社長の社長室長に抜擢される。しかし、伊郷は新生ヤマトのため、自らの解任案に賛成。結果、反対派の役員は解雇、大石副社長が社長となる。鹿児島支社に飛ばされた金太郎は、「老王」と呼ばれるヤマト建設の大株主から株の委任状を取る役目を受ける。スランプ中の金太郎は仕事に身が入らず、小料理屋のママ・貴子と深い仲になつてしまつ。金太郎は株の委任状を手に本社に復帰するが、浮気がバレ、美鈴が家出。子供一人を抱えた金太郎は、社命で、ヤマトが推す民自党・山金の派閥の代議士・朝倉英雄の事務所に行くことになる。折しも時の内閣が衆院を解散、総選挙となり、対立候補への妨害工作を命じられる金太郎。しかし、その汚いヤリ口にガマンできず、自分流のやり方で選挙運動に挑む決意をする。一方、美鈴に言われ、矢島家に家政婦として訪れていた貴子は、金太郎に対する気持ちに整理をつけ、矢島家を去る。そして、人につつかれるまま生きてきた朝倉も、金太郎に殴られ、喝をいれられたことで、自分の生き方を変えよつとしていた。



矢島美鈴



山金幸四郎



矢島金太郎



伊郷龍藏



朝倉英雄

サラリーマン  
**金太郎**

21

金太郎、起つ

【目次】



第121話●政治屋の本懐

第122話●金太郎、止まる。

第123話●金太郎、セクハラする。

第124話●金太郎、滯る。

第125話●金太郎、起つ。

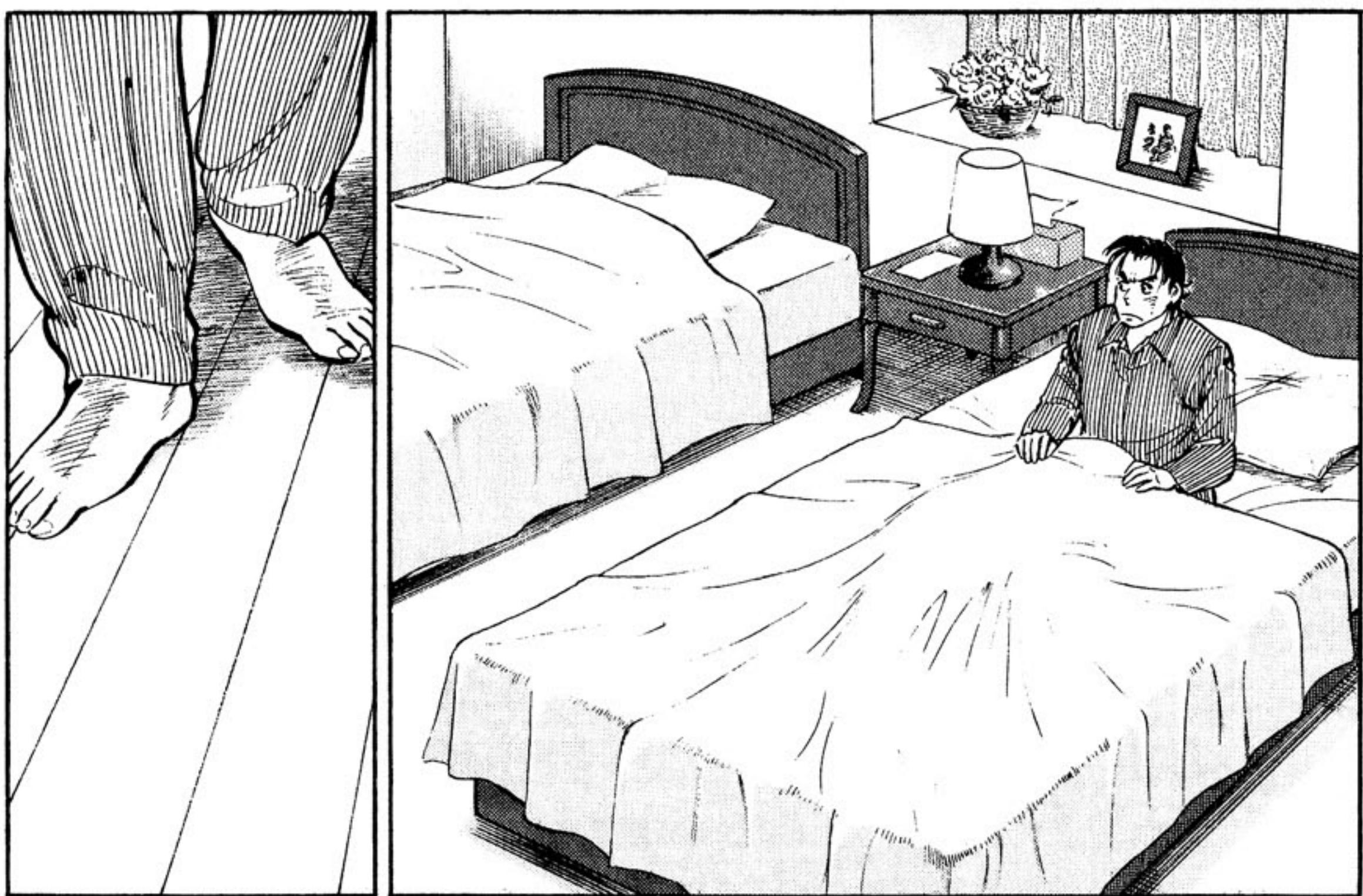
## 【登場人物】

- 矢島金太郎（やじま・きんたろう）……………ヤマト建設本社に勤務・本作の主人公  
矢島竜太（やじま・りゅうた）……………金太郎の長男  
矢島美鈴（やじま・みすず）……………金太郎の妻・銀座の一浴クラブの元ママ  
末永美々（すえなが・みみ）……………美鈴の娘・元タレント・渡米中  
矢島美香（やじま・みか）……………金太郎と美鈴の娘  
大和守之助（やまと・もりのすけ）……………ヤマト建設創業者・前会長  
黒川優作（くろかわ・ゆうさく）……………元ヤマト建設社長  
伊郷龍藏（いじょう・りゅうぞう）……………ヤマト建設会長  
大石大作（おおいし・だいさく）……………ヤマト建設代表取締役社長  
長谷川清巳（はせがわ・きよみ）……………神奈川県富士沢市の市会議員  
朝倉英雄（あさくら・ひでお）……………衆議院議員  
山金幸四郎（やまがね・こうしやう）……………次期総理候補

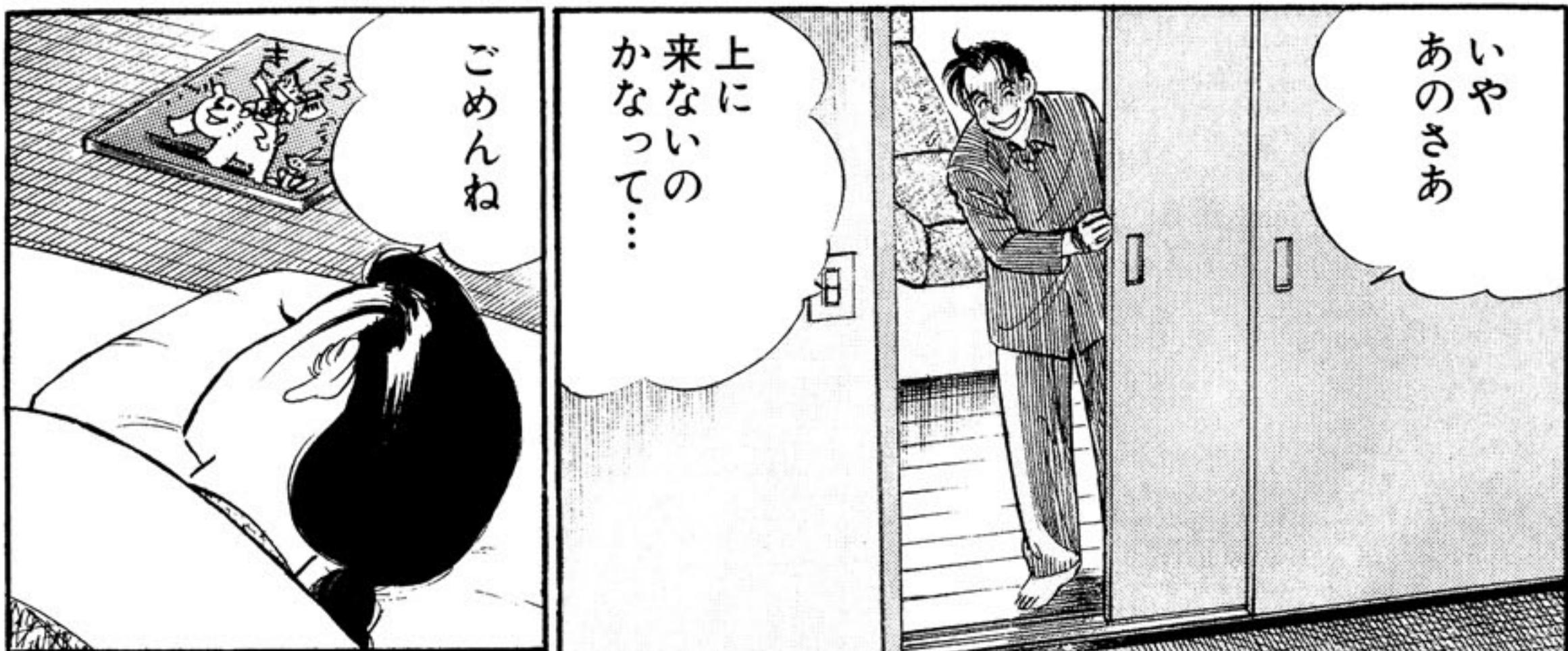
# 第121話

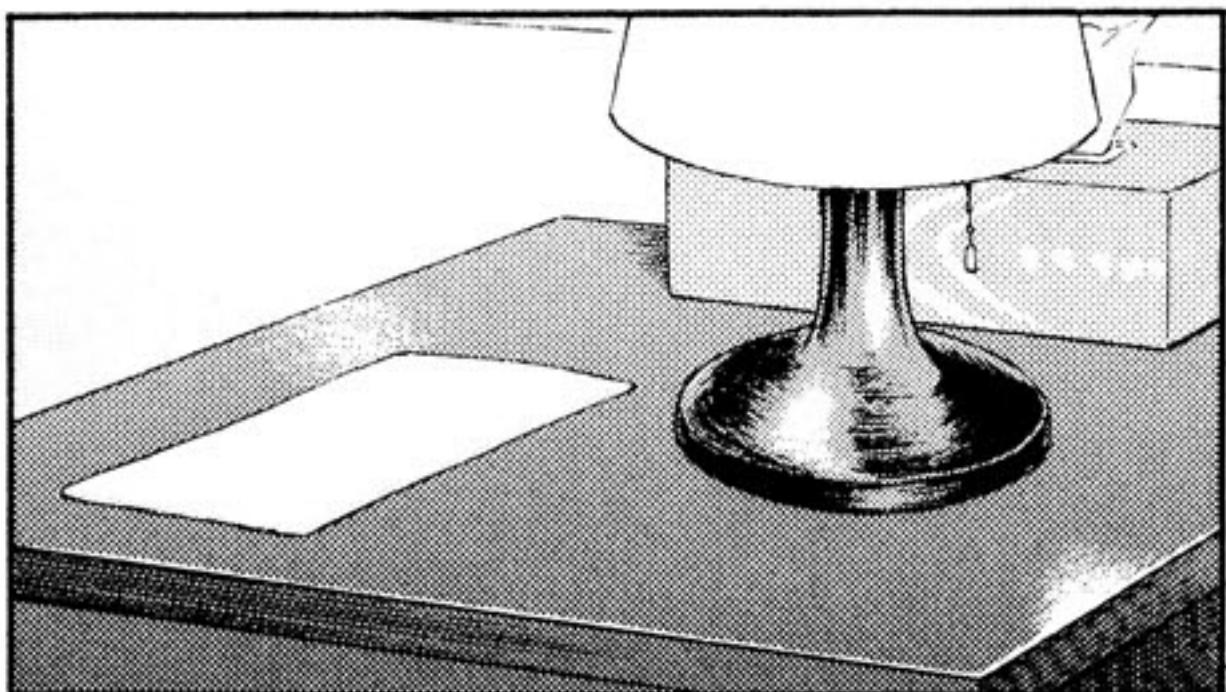


政治屋の本懐



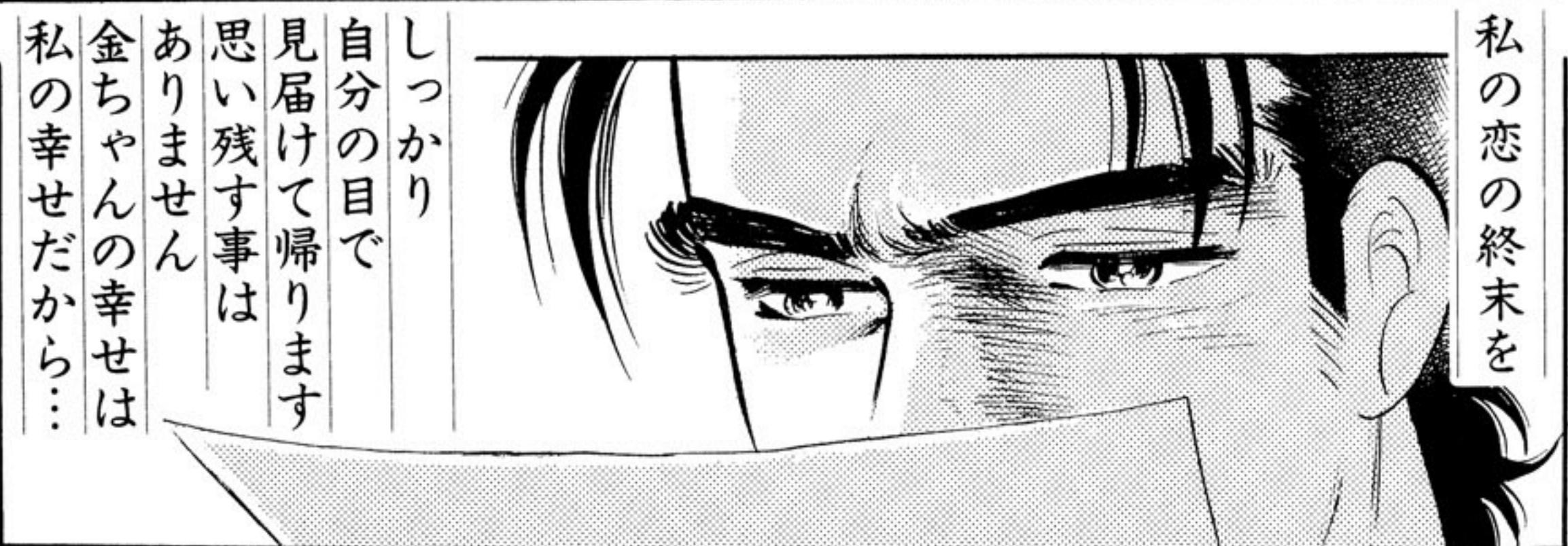
# サラリーマン金太郎②





でも 美鈴さんには  
心から感謝しています  
私の恋を最後の所まで  
導いてくれたんです

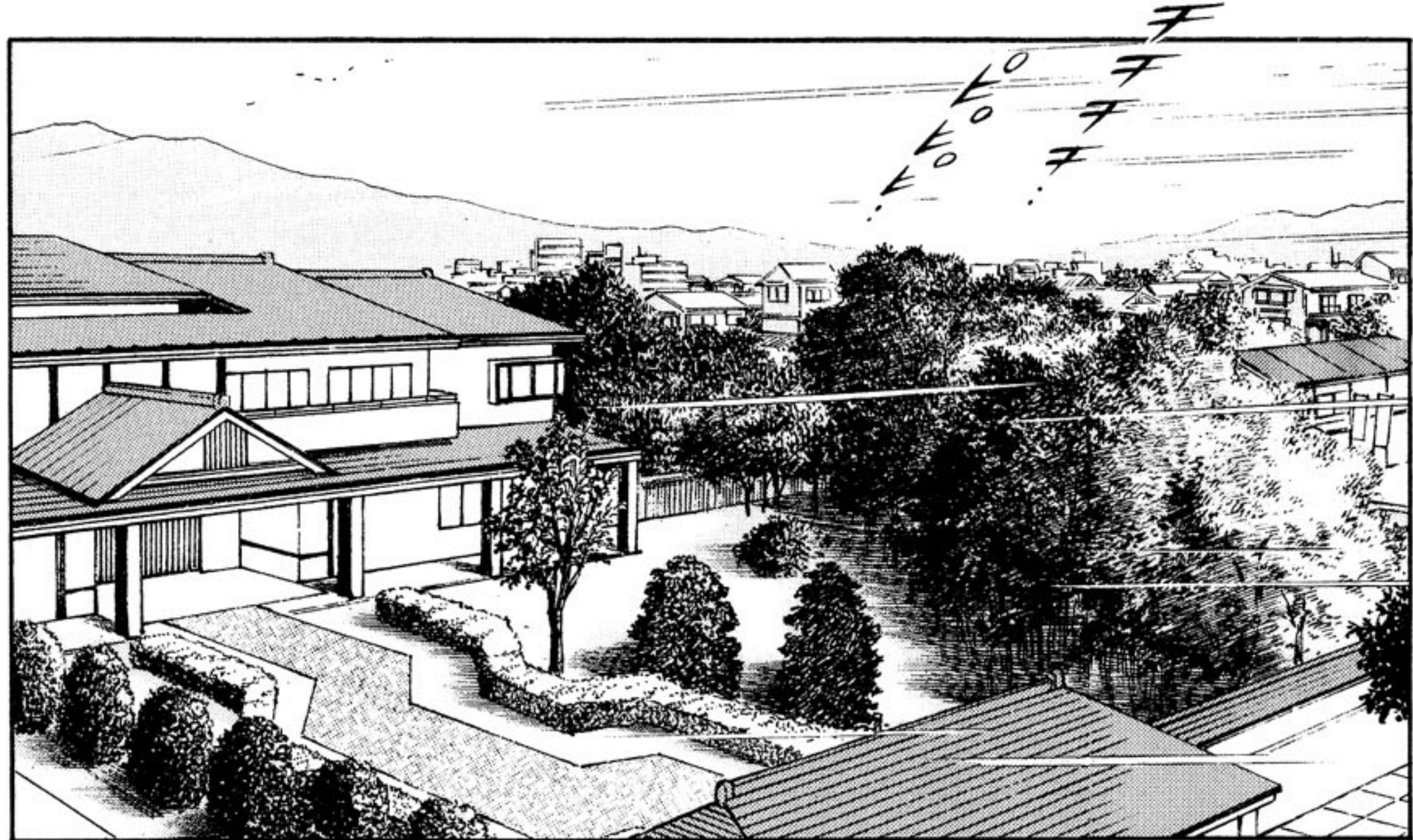
本気の恋でした：  
せつなくて 苦しくて：  
金ちゃんを帰してから  
自分の心のコントロールを  
失いました

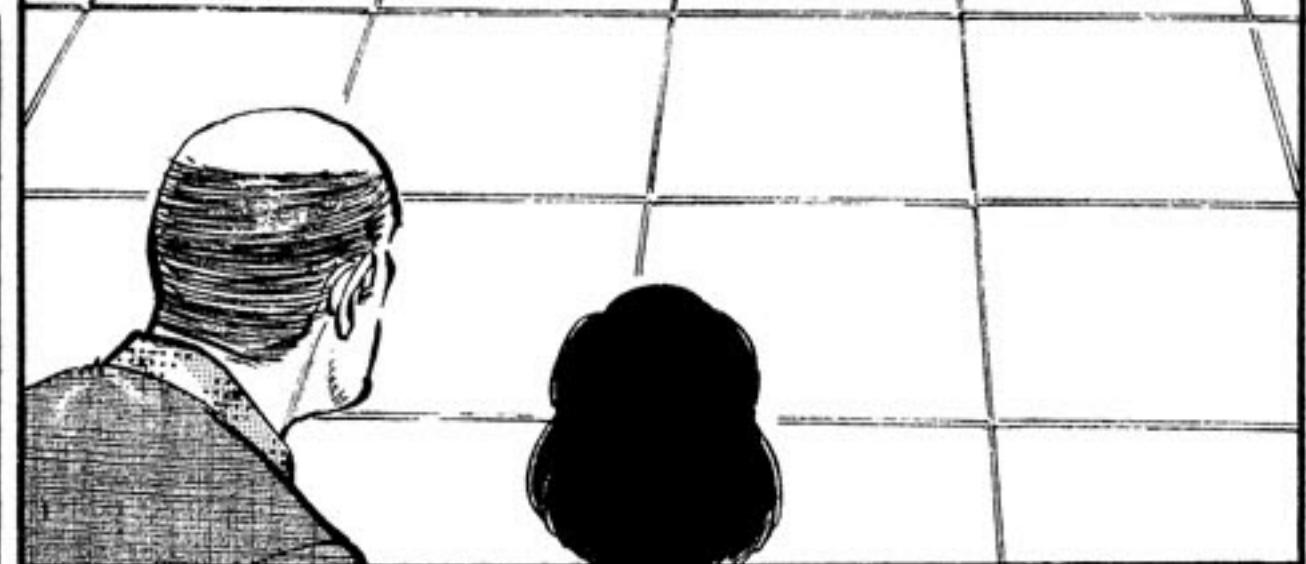


しつかり  
自分の目で  
見届けて帰ります  
思い残す事は  
ありません  
金ちゃんの幸せは  
私の幸せだから：

私の恋の終末を

# サラリーマン金太郎②





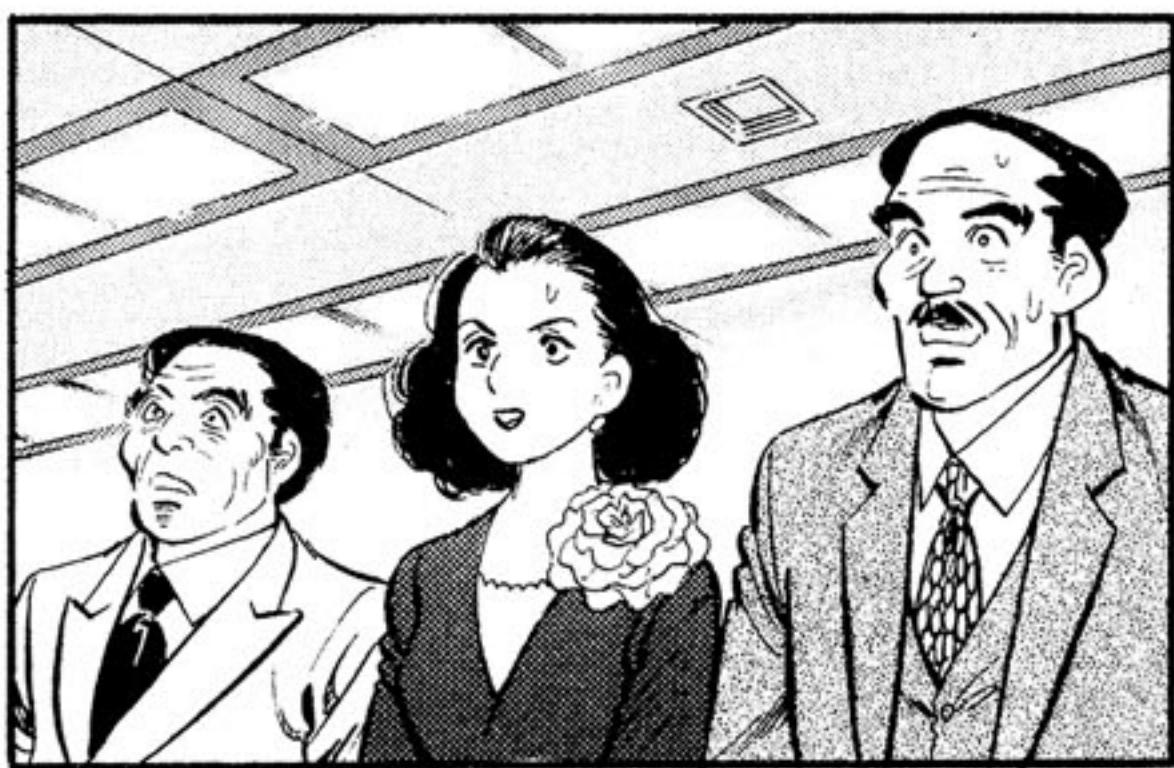
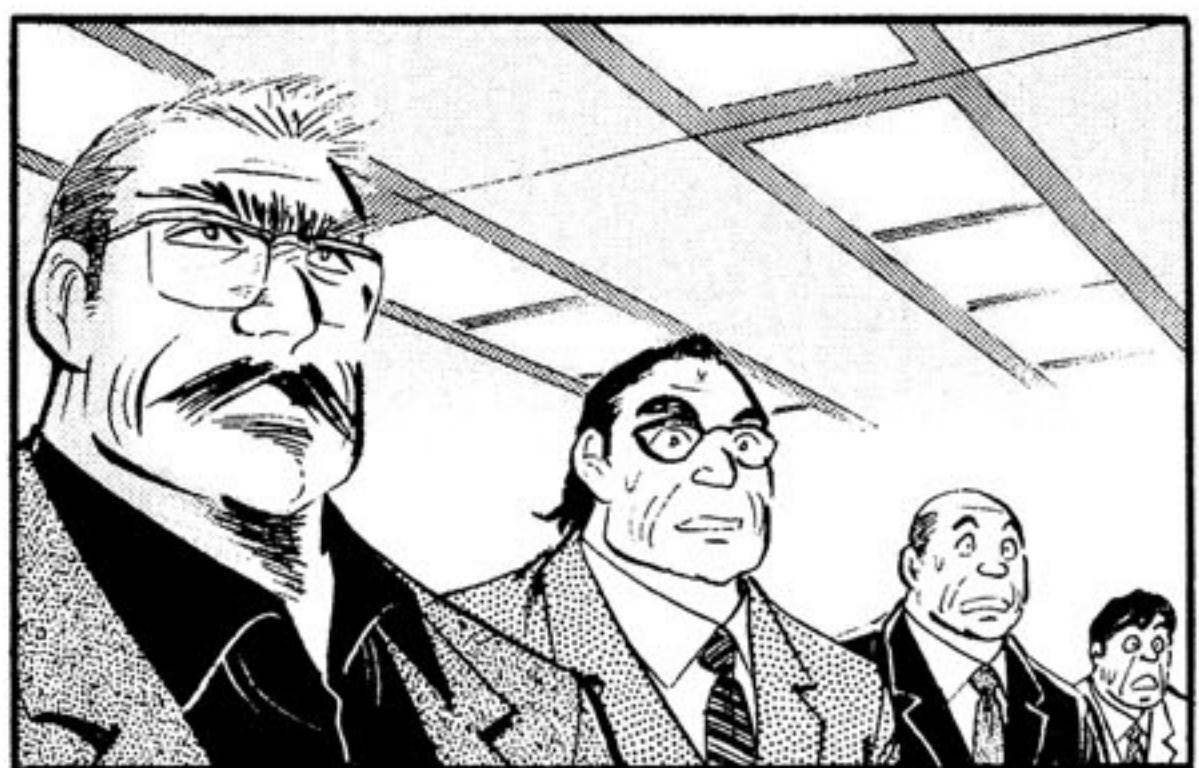
# サラリーマン金太郎②

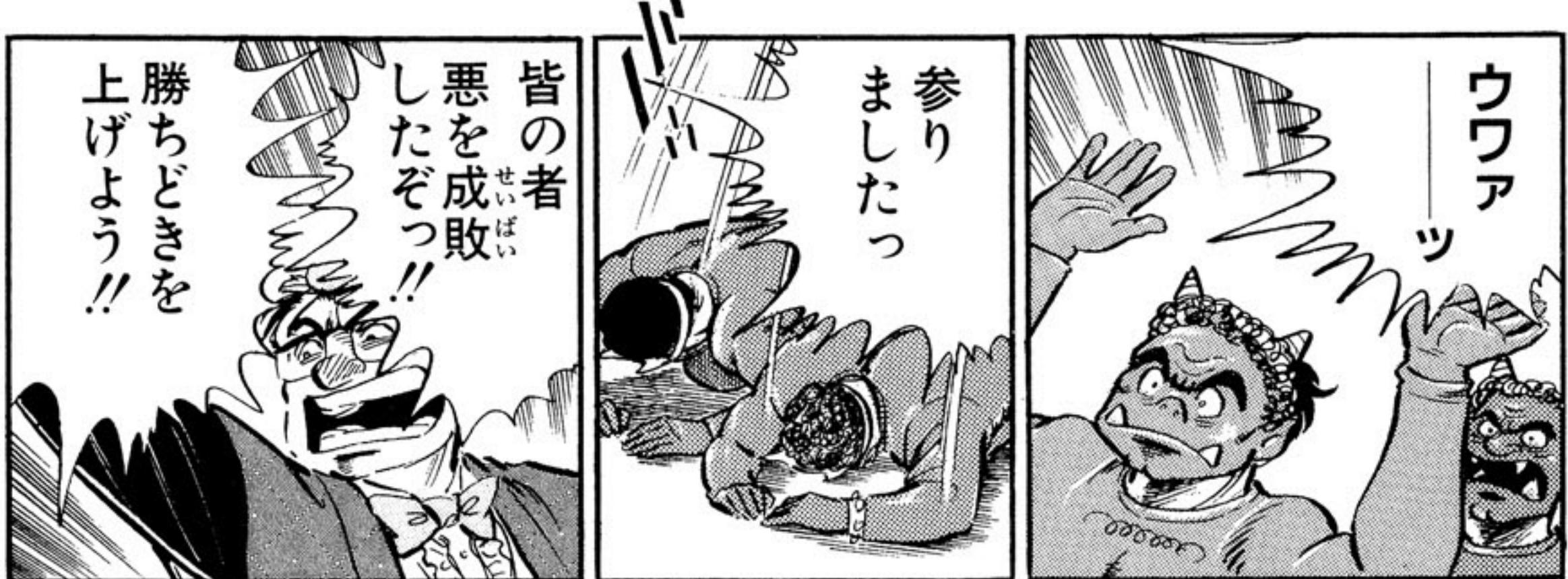






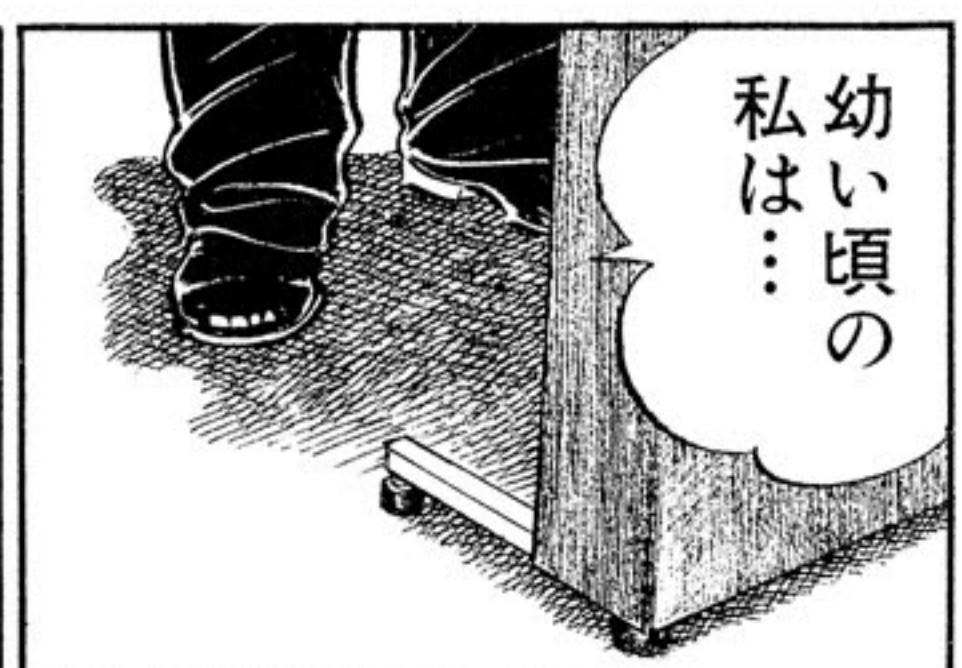






# サラリーマン金太郎②





# サラリーマン金太郎②





# サラリーマン金太郎②





